



老年病研究所附属病院の理念

1. 地域の人々の健康を守るための、研究と実践
2. 疾病の予防と治療に役立つ看護、介護の推進
3. 高齢社会における保健・医療・福祉のネットワーク作り

老年病研究所附属病院の基本方針

1. 質の高い安全な医療の提供
2. 多職種によるチーム医療の実践
3. 職員教育の充実
4. 病院経営の安定
5. 新型コロナウイルス感染対策の徹底

回復期リハビリテーション病棟 における摂食嚥下訓練

西棟回復期リハビリテーション病棟
看護師長 坪本 佐江子

摂食嚥下障害とは

回復期リハビリテーション病棟は、急性期病棟での治療が終わり、寝たきり防止と在宅復帰に向けて、日常生活動作能力を高められるようリハビリを効果的に行う病棟です。西棟回復期病棟の病床数は56床ですが、そのうち半数は脳出血や脳梗塞などの脳血管疾患の患者さまが入院しています。

脳血管障害や脳外傷などで脳に損傷が生じた場合、現れる症状は損傷が生じた部位により異なりますが、摂食嚥下障害をきたす原因疾患の約40%が、脳血管障害であるといわれています。

摂食嚥下とは、食物が認知されてから口腔へ運ばれ、咀嚼して飲み込みやすい形態にして嚥下する過程をいいます。その過程は①先行期（認知期）：食物の認知・口への取り込み、②準備期（咀嚼期）：口腔への取り込み、咀嚼、食塊の形成、③口腔期：舌根部・咽頭への送り込み、④咽頭期：咽頭の通過、食道への送り込み、⑤食道期：食道への通過の5つに分かれています。

摂食嚥下障害は障害によって症状が異なり、嚥下過程のどこに、どのような症状があり問題

があるのかを把握し、その症状に合わせた訓練を行い早期に経口摂取をめざしたアプローチが重要です。

多職種協働での摂食嚥下訓練

当病棟では、経口摂取確立に向け、摂食嚥下訓練パスを用いて摂食訓練を実施しています。摂食嚥下訓練には、間接訓練と直接訓練があります。

間接訓練とは、食物を用いずに運動や刺激を加え、機能の改善や動作の獲得をめざす訓練であり、直接訓練とは、実際の食物を用い一連の摂食動作を通じて訓練を行うことです。

摂食嚥下障害により経鼻胃管や胃瘻などの経管栄養を主栄養としている患者さまが当病棟に入院・転入されたら、言語聴覚士によって間接・直接訓練が行われます。

その後看護師による直接訓練移行の際に、摂食嚥下訓練開始基準に従い直接訓練移行の評価を行います。評価は①摂食訓練パス開始要件に当てはまるかどうか②言語聴覚士による嚥下訓練の様子はどうかの2点を確認します。

評価により摂食訓練はまだ不可とされた場合は、言語聴覚士による間接訓練や直接訓練に合わせ、看護師による間接嚥下練習記録表を用いて訓練を実施し、経過をみて適宜評価します。

評価により摂食訓練が可とされれば、主治医・看護師・言語聴覚士との話し合いにより、いつから開始するかを検討します。摂食訓練開始に

次ページへ続く

あたり摂食嚥下訓練パスに基づき、看護師と言語聴覚士がそれぞれ開始前評価を行います。その評価では、①食事摂取を想定し適切な姿勢が保てるかどうか姿勢の確認、②適切な時間、姿勢の維持ができるか耐久性の確認を行います。評価により必要に応じて食事摂取が可能な状態になるよう理学療法士や作業療法士と相談し工夫・配慮を行います。また、③口腔内の状態（歯・義歯・舌・歯茎の状態）を観察します。必要に応じて医師に相談し歯科受診を検討します。

摂食訓練の食事として、当院での訓練食は練習食A、練習食B、練習食C、練習食Dがあります（右下の写真参照）。通常は練習食Aから開始していきませんが、言語聴覚士による直接訓練での状態により開始する食事形態を検討します。

摂食訓練では昼食時に看護師が患者さまをマンツーマンで対応し、摂食嚥下訓練記録表を用いて摂食状況・嚥下の状態を観察・評価します。摂食嚥下訓練記録表を用いることで、日々訓練する看護師が替わってもその患者さまの摂食嚥下の注意点や介助方法を把握することができ、統一した介入が行えます。摂食嚥下訓練は3日毎に行います。3日毎に評価をすることで課題や問題点を把握し易く安全に食事形態を変更していくことができます。

退院に向けての取り組み

退院に向け摂食訓練だけでなく、食事環境の

整備、水分摂取・服薬の実施、経鼻胃管抜去の検討、自己摂取援助、家族への食事介助指導、姿勢の維持調整、自助具の使用・検討・調整、口腔ケア、間接訓練など看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の多職種で連携し経口摂取を確立していきます。

「口から食べること」はただ単に栄養摂取ができるということだけでなく、食べる楽しみや満足感、さらには生きる喜び・意欲となり、日常生活動作（ADL）・生活の質（QOL）の向上へと繋がります。

今後も多職種協働で1人でも多くの患者さまが「口から食べること」ができるよう努めています。

練習食A（ゼリー・豆腐）



練習食B（全粥・豆腐）



練習食C（ミキサー食）



練習食D（ムース）



お知らせ

受診する際のお願い

発熱、せき・息切れ、倦怠感、味覚障害などの症状がある方は、必ず事前に電話連絡をお願いします。

☎027-253-3311（代表）

入院患者さまの面会禁止について

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、入院患者さまとの面会を禁止しております。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

以下のような場合、受付にお声をかけてください。

- ・入院患者さまが重症、急変、危篤状態で面会をする
- ・ケアマネジャー、他施設職員、医療業者等が患者状態確認の必要がある
- ・医師より病状説明、治療方針の説明がある
- ・洗濯物、オムツの受け渡しを行う（病棟エレベーター前で対応）
- ・転棟時の書類記載等の手続きを行う
- ・退院時の退院手続きを行う



花 名：セントポーリア
花言葉：小さな愛
撮影者：松原信子様

来院の際はマスクの着用と手指消毒をお願いします。

老年病研究所附属病院「LINE公式アカウント」を開設しました。

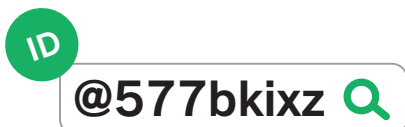
スマートフォンなどで利用できるアプリケーション「LINE」を利用して、各種ご案内やお知らせなどを直接お届けいたします。最新の外来診療表や連携室通信もチェックできます。ぜひ「友だち追加」をお願いします。

友だちの追加方法



QRコードから追加する場合

- ① LINEの「友だち一覧」より右上の「+」をタップしてください。
- ② 「友だち追加」から「QRコード」を選択し、左記QRコードを読み取ってください。
- ③ 老年病研究所附属病院のアカウントが表示されたら「追加」をタップしてください。



ID検索から追加する場合

- ① LINEの「友だち一覧」より右上の「+」をタップしてください。
- ② 「友だち追加」から「検索」を選択し、左記IDをご入力ください。
- ③ 老年病研究所附属病院のアカウントが表示されたら「追加」をタップしてください。

お問い合わせ、相談窓口のご案内

医療機関さまへ

急患のご相談、再診予約の変更・キャンセル

➡ 医事課（北棟1階）

☎ 027-253-3311

初診の患者さまの診察予約

➡ 地域医療福祉連携室（西棟1階）

☎ 027-253-4108（直通）

医療機関さま、患者さまへ

認知症に関してのご相談と鑑別診断について

➡ 認知症疾患医療センター（西棟1階）

☎ 027-252-7811（直通）

老人保健施設への入所、通所について

➡ 群馬老人保健センター陽光苑（西棟2、3、4階）

☎ 027-253-3310（直通）

グループホームへの入所について

➡ グループホームひまわり（病院南隣り）

☎ 027-253-3322

患者さまへ

退院後の生活、身体障害者手帳、障害年金、介護保険、医療費などの医療福祉相談

➡ 地域医療福祉連携室・相談室（西棟1階）

☎ 027-253-4108（直通）

人間ドックのお問い合わせ、ご予約

➡ ドックセンター（新館2階）

☎ 027-253-5174（直通）

さわやか健診のお問い合わせ

➡ 医事課（北棟1階）

☎ 027-253-3311

介護保険の利用に関するご相談

➡ ケアプランセンター老研（病院南隣り）

☎ 027-253-3398（直通）

訪問看護についてのご相談

➡ 訪問看護ステーションひまわり（新館1階）

☎ 027-252-3305

受付時間 午前8:30～11:30まで / 午後1:30～4:00まで (土曜の受付は11:00まで)

※急患は24時間受付けております
※禁煙外来は初診のみで再診は内科外来で行います

外来診療表

第2・第4土曜日休診
※歯科口腔外科は第2・第4土曜も診察しています

令和3年6月21日

診療科目		曜日	月	火	水	木	金	土
		時間帯						
内科	午前	高玉 真光 合田 史	高玉 真光 合田 史 小池 陽子 (9:00～)	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 勝山 彰 直田 匡彦	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 勝山 彰	高玉 真光 (10:30まで) 勝山 彰 合田 史 笠原 礼光 (第1) (9:00～10:30まで)
	午後		小池 陽子 (14:00まで)					
禁煙外来	午前			勝山 彰 (完全予約制)	勝山 彰 (完全予約制)	勝山 彰 (完全予約制)		
脳神経内科	午前	岡本 幸市 東海林 幹夫 菅原 隆	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 東海林 幹夫 甘利 雅邦	岡本 幸市 瓦林 毅 橋本 健太郎	岡本 幸市 池田 将樹	岡 大典 (第1.5) 岩崎 理 (第3)	
	午後	岩崎 理	岡 大典	山内 洋子 (15:30まで)	甘利 雅邦 (完全予約制 14:00まで) 菅原 隆 橋本 健太郎	池田 将樹 (15:30まで)		
物忘れ外来 (神経内科)	午後			山口 晴保 (完全予約制)				
循環器内科	午前		天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	天野 晶夫	
循環器内科 (不整脈外来)	午前						田村 峻太郎	
脳神経外科	午前	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	高玉 真	1診:内藤 功 2診:高玉 真	1診:内藤 功 2診:岩井 丈幸	1診:宮本 直子 2診:内藤 功	1診:高玉 真 2診:宮本 直子	
	午後		岩井 丈幸 (15:00まで)	岩井 丈幸 (15:00まで)				
整形外科	午前	佐藤 圭司 加藤 良衛	島田 晴彦 柳橋 淳子 (9:30まで)	佐藤 圭司 館野 勝彦	佐藤 圭司 (10:30まで) 加藤 良衛	館野 勝彦 島田 晴彦	佐藤 圭司 (第1) 島田 晴彦 (第1.5) 館野 勝彦 (第3.5) 加藤 良衛 (第3)	
	午後	加藤 良衛 柳橋 淳子		館野 勝彦 柳橋 淳子	柳橋 淳子	島田 晴彦		
眼科	午前	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤	高玉 篤 遠藤 朝美	高玉 篤	
	午後		高玉 篤	高玉 篤 (隔週)	高玉 篤			
皮膚科	午前	森本 奈緒子	森本 奈緒子		森本 奈緒子	森本 奈緒子		
泌尿器外来	午前	矢嶋 久徳		一ノ瀬 義雄				
	午後	矢嶋 久徳						
漢方外来 (内科)	午前				古川 和美			
高血圧外来	午前	中村 哲也	中村 哲也					
糖尿病外来	午前		中村 保子				中村 保子	
	午後					中村 保子		
内視鏡	午前			山田 拓郎 (第2.4) (隔)		乾 正幸 (隔)		
	午後					乾 正幸 (大腸)		
麻酔科	午前	増田 裕一		増田 裕一 (10:30まで)		佐藤 美恵		
睡眠時無呼吸外来	午前					山口 彩 (第2.4) (完全予約制9:00～11:30)		
リハビリテーション科	午後				神宮 俊哉			
腎臓リウマチ内科	午後		群大非常勤 (第1) 今井 陽一 (第3)					
歯科・口腔外科	午前	富士 宙之 戸谷 麻衣子	富士 宙之 戸谷 麻衣子	富士 宙之 戸谷 麻衣子	富士 宙之 戸谷 伊達 伊達 佑生	富士 宙之 戸谷 麻衣子	富士 宙之 (第1.3.5) 戸谷 麻衣子 (第2.4)	
	午後	富士 宙之 戸谷 麻衣子	茂木 健司 (第3) 宙之 戸谷 麻衣子		富士 宙之 戸谷 伊達 伊達 佑生	富士 宙之		

公益財団法人 老年病研究所附属病院

〒371-0847 群馬県前橋市大友町3-26-8 TEL 027-253-3311 (代表) FAX 027-252-7575 (代表)
E-mail: info@ronenbyo.or.jp ホームページアドレス <http://www.ronenbyo.or.jp/>

地域医療福祉連携室・相談室

TEL 027-253-4108 FAX 027-253-4135